

<b>施設名称</b>		〔16〕 東京都台東区立特別養護老人ホーム三ノ輪				
<b>指定管理者の名称</b>		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		<b>指定期間</b>	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2) 類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム浅草・特別養護老人ホーム谷中					
(3) 経営状況	[社会福祉事業会計] (22年度決算ベース) 歳入2,679,635,858円, 歳出2,542,831,771円, 収支差額13,680,487円					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区三ノ輪1-27-11					
(2) 設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3) 利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4) 開館日・時間	通年、24時間					
(5) 規模	延べ床面積 9,617㎡のうち4,604㎡ 三ノ輪福祉センター内 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上9階地下2階のうち地上8階～地下2階部分 駐車場(共用)、売店、リハビリ室、浴室(機械浴、一般)、ボランティア室、居室、静養室等					
(6) 人員体制	38名 内訳…施設長(1)、事務員(2)、相談員(1)、介護職員(常勤23,非常勤5)、看護職員(5)、栄養士(1)					
<b>3. 事業(サービス提供)の概要</b>						
(1) 委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄援助、入浴援助)、季節行事等) 地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業、併設事業として短期入所生活介護の運営、施設・付属設備及び物品の保全、施設内の清潔整頓、その他環境整備等					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		<b>18年度</b>	<b>19年度</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>	<b>22年度</b>
予算	委託料(22年度から)	86,496,000	69,037,000	56,262,000	60,621,000	53,951,000
	料金収入等	258,115,000	265,995,000	270,905,000	280,171,000	277,044,000
	管理経費	344,611,000	335,032,000	327,167,000	340,792,000	330,995,000
決算	委託料(22年度から)	59,859,548	40,097,356	56,262,000	60,621,000	53,945,814
	料金収入等	291,522,280	306,855,123	285,402,387	328,075,769	335,384,764
	管理経費	319,607,460	329,208,829	326,693,646	344,512,220	322,315,482
	収支	31,774,368	17,743,650	14,970,741	44,184,549	67,015,096
<b>5. 施設の稼働状況等(活動指標)</b>						
<b>指標名称</b>		<b>単位</b>	<b>19年度</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>	<b>22年度</b>
入所定員(ショートステイ含む)		人	67	67	67	67
<b>6. 成果指標</b>						
<b>指標名称</b>		<b>単位</b>	<b>目標値(24年度)</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>	<b>22年度</b>
利用率(特養+ショート)		%	99.0	99.0	99.0	98.7
利用者数(特養+ショート)		人	24,300	24,220	24,205	24,132

**7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み**

サービスの向上に努めながら、更なる効率的な経営に向け、経費削減等を継続して取り組んでいく。

**8. 評価項目**      3：協定等の水準を上回っている。      0：協定等の水準を下回っている。  
                          2：協定等の水準どおりである。      -：評価対象外項目。  
                          1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.2]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[3]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[3]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.2]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[3]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

**9. 評価**

S（水準以上）      : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）            : 協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり） : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）      : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）      : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	S	基準値を超えた有資格者の配置や、個人情報の保護など、全体的に適切な業務運営がなされている。特養の空床を利用したショートステイを行い、昨年に引き続いて高い利用率を維持している。
(2) 施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理において、概ね適切に維持管理が行われている。
(3) 利用者の満足度	S	入居者の転倒事故防止のため、新たにリスクカンファレンスを実施し、事故件数減少に繋げるなど、利用者一人ひとりに対応したサービスを行っており、経営努力がうかがえる。また、利用者の満足度調査では、概ね高い評価を得ている。
(4) 歳入歳出	A	委託料・管理経費ともに削減が図れており、収支についても対前年を上回る成果あげている。今後も利用料金収入を増額する工夫や収支の更なる改善に取り組んでいく。

**10. 総合評価**      良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>良好</b>	高い利用率水準を維持し、経費削減の努力が見られ、適切なサービス提供がなされている。
-----------	---

**11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応**

より一層高水準のサービスを提供し、利用者から高い評価を得られる施設運営を目指していくとともに、運営経費の面で更なる削減を図っていくなどの経営努力を継続していくことが求められる。施設については、設立から17年が経過しており経年劣化が進んでいるため、計画的に設備保全を行っていく。